



(写真) Shutterstock “米国の経済制裁とベネズエラの産油量の関係を考察”

経済制裁と産油量

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

米 国大統領選でダニエル・トランプ候補が当選したことで、2025年以降の米国の対ベネズエラ方針に不透明感が生じている。

トランプ次期大統領の行動は予測不可能ではあるものの、米国の対ベネズエラ方針と共和党の基本姿勢を踏まえれば、強硬路線に触れるのが基本と考えるべきだろう。仮に制裁を再強化した場合、ベネズエラの産油量にどの程度の影響があるのだろうか。

本稿では、米国による制裁がベネズエラの産油量にどの程度影響を与えたかについて確認してみたい。

トランプ候補当選 制裁強化の可能性高まる

複数の専門家が、トランプ次期大統領の対ベネズエラ方針について、以下の理由から過去の圧力強化から変更する可能性を指摘している。

- (1) 過去の圧力政策（制裁強化）が失敗したため
- (2) 最優先課題の1つである不法移民問題の解決にはマドゥロ政権の協力が必要であるため
- (3) 過去、マドゥロ政権に圧力政策を行使した理由はフロリダ州の支持基盤を固めるためだった。現在、フロリダ州は共和党勢力が強く、以前ほどフロリダ州を優先する必要がないため
- (4) トランプ政権1期目と2025年では国際政治情勢が異なる。25年の国際情勢はより不安定で、ベネズエラ問題に注力できないため

- (5) トランプ氏は現実主義者であり、1期目には北朝鮮の金正恩総書記と面談したこともある。必要であればマドゥロ大統領とも面談する
- (6) トランプ氏は「強い男」が好きで、トランプ氏はマドゥロ大統領を「強い男」と認識している

確かにトランプ政権2期目が対ベネズエラ方針を変えると考察するに足る理由は複数存在する。

しかし、政治は合理性を欠いた行動をとることが多い。共和党はこれまでマドゥロ政権を強く批判してきた政党である。彼らにとって「一貫性を維持する」ことが、「合理的な判断」よりも重要になることはある。

その意味で、2025年以降のメインシナリオは、制裁強化、良くて現状維持と考えるべきだろう。

18~20年 年間日量50万バレルずつ減

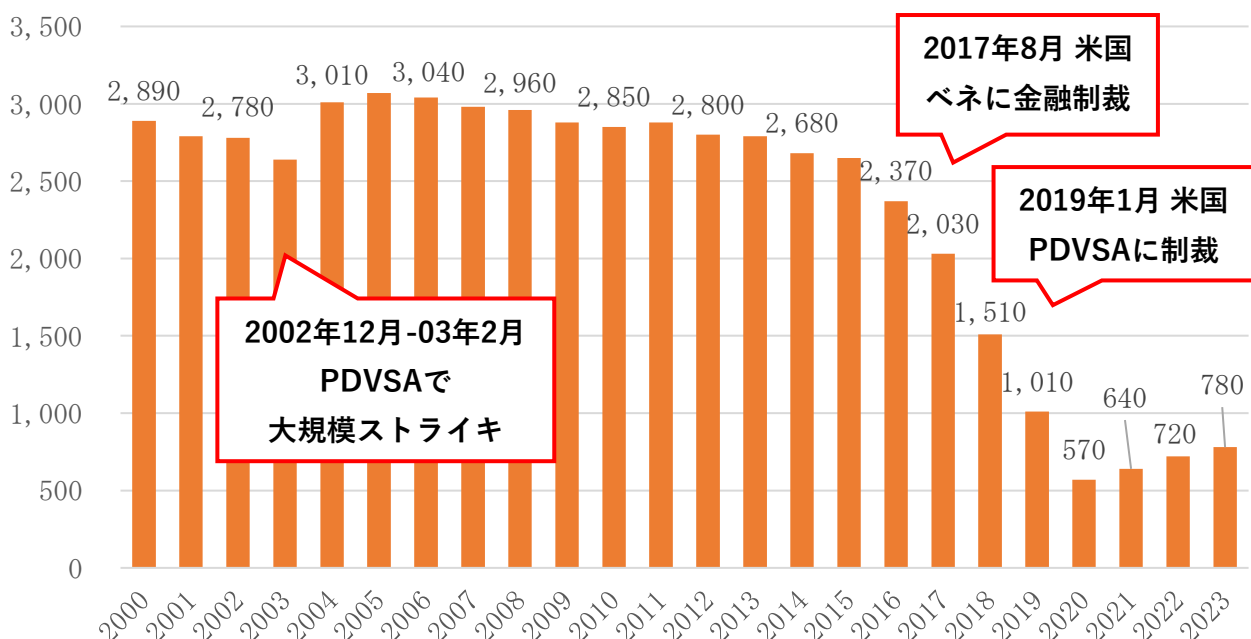
それでは、仮にトランプ政権が経済制裁を再び強化した場合、産油量にどの程度の影響がでるかについて過去の統計を基に考えてみたい。

以下は、2000年~23年までのベネズエラの産油量(年間平均)推移である。

グラフの通り、2017年までベネズエラの産油量は日量200万バレル超だったが、17年8月に米国政府はベネズエラに金融制裁を発動。この影響で、18年の産油量は日量151万バレルに減少した。また、2019年1月にはPDVSAへの制裁を開始。2019年の産油量は日量101万バレル、20年に日量57万バレルと2018年からは3年連続で日量約50万バレルずつ減少した。

グラフ：ベネズエラの産油量推移

(単位：千バレル/日)



(出所) OPEC Annual Statistics Bulletin 2024

(注) ベネズエラ石油省報告値を参照

しかし、2021年に減産に歯止めがかかり、21～23年は毎年日量6～8万バレルのペースで回復している。

なお、2024年1～10月時点の平均産油量は日量90.9万バレル。23年平均より約13万バレル増えており、増産ペースが加速している。

輸出先の増加とともに産油量も増加

2025年以降、仮にトランプ政権がベネズエラへの制裁を再び強化する場合、特に参考になるのは2019年以降の産油量の推移になるだろう。

次ページには

「2019年～21年のベネズエラの平均産油量」と「2022年～24年のベネズエラの平均産油量」のグラフを掲載している。

1期目のトランプ政権は、2019年1月にPDVSAへ制裁を発動。これにより、19年4月にはベネズエラから米国向けの原油輸出は(2023年1月まで)停止した。

しかし、欧州(特にスペインのRepsol)・インド(Reliance、Nayara Energy)はベネズエラ産原油の輸入を続けていたため、トランプ大統領は2020年2月にインドを訪問。

インド・スペインに対して、制裁をほのめかしPDVSAとの取引を停止するよう働きかけ、その結果インド・スペインは2020年10月からベネズエラとの原油取引を停止した。

しかし、バイデン政権が発足し、米国の対ベネズエラ方針が軟化。

2022年半ばに米国は、Repsolがベネズエラ産原油を輸入することを容認。同年11月にはChevronがベネズエラ国内で産油活動を再開することを許可。同時に、ベネズエラ産原油を米国に輸出することも許可した。

更に2023年10月には与野党合意(バルバドス合意)の成立を受けて、時限的にベネズエラの石油産業に科していた制裁を解除。他国の企業がPDVSAから原油を購入することを許可した。

しかし、2024年4月 米国政府は「マドゥロ政権がバルバドス合意を守っていない」との理由から石油産業への制裁緩和措置の解除を決定。24年6月から再び制裁緩和前のスキームに戻っている。

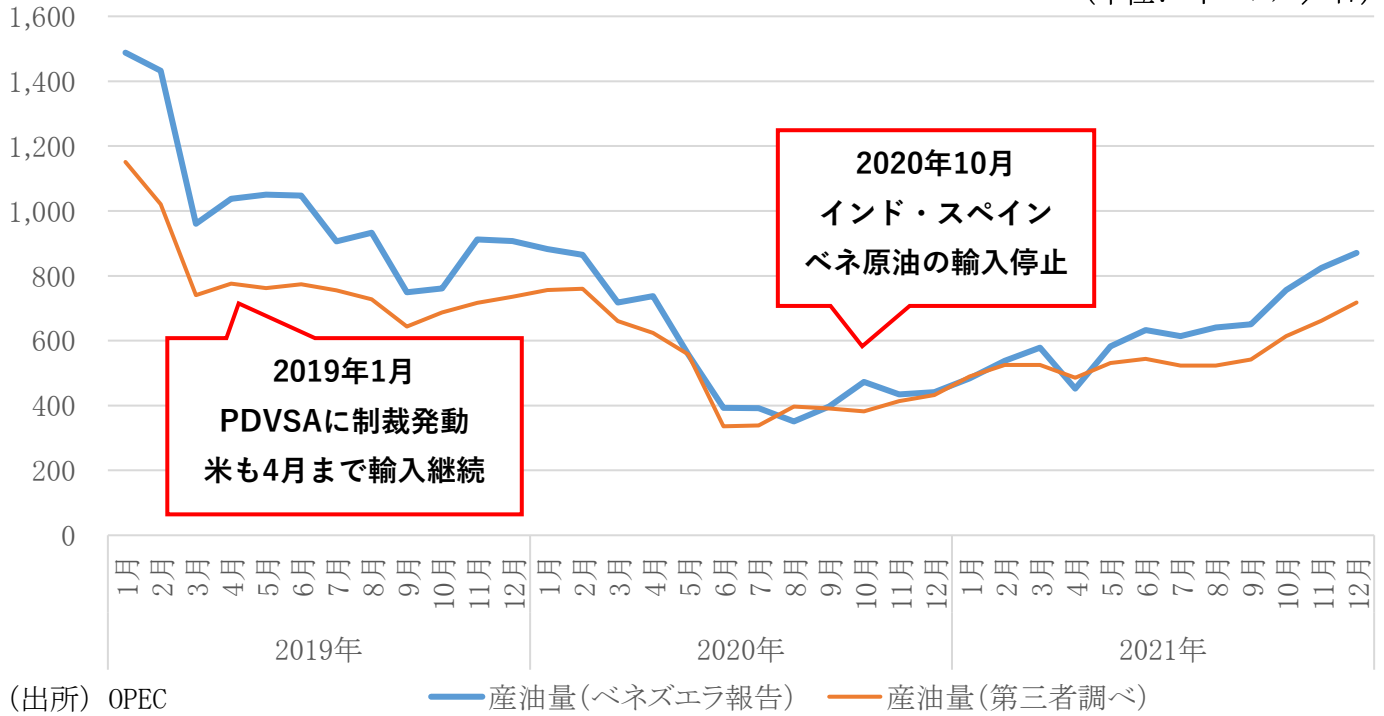
2023年10月以前のスキームに戻ったと言っても、米国政府は個別企業に対して制裁ライセンスを発行することでベネズエラ国内での産油活動を許可しており、Chevron・Repsol・Maurel & Promなど許可を受けた外国企業は引き続きベネズエラ国内で活動を継続している。

2022年以降の増産分のほとんどはChevronを中心とする外国企業の増産分とされている。

従って、次期トランプ政権がこの許可を撤回するようなことがあれば、ベネズエラの産油量は再び減少することになるだろう。

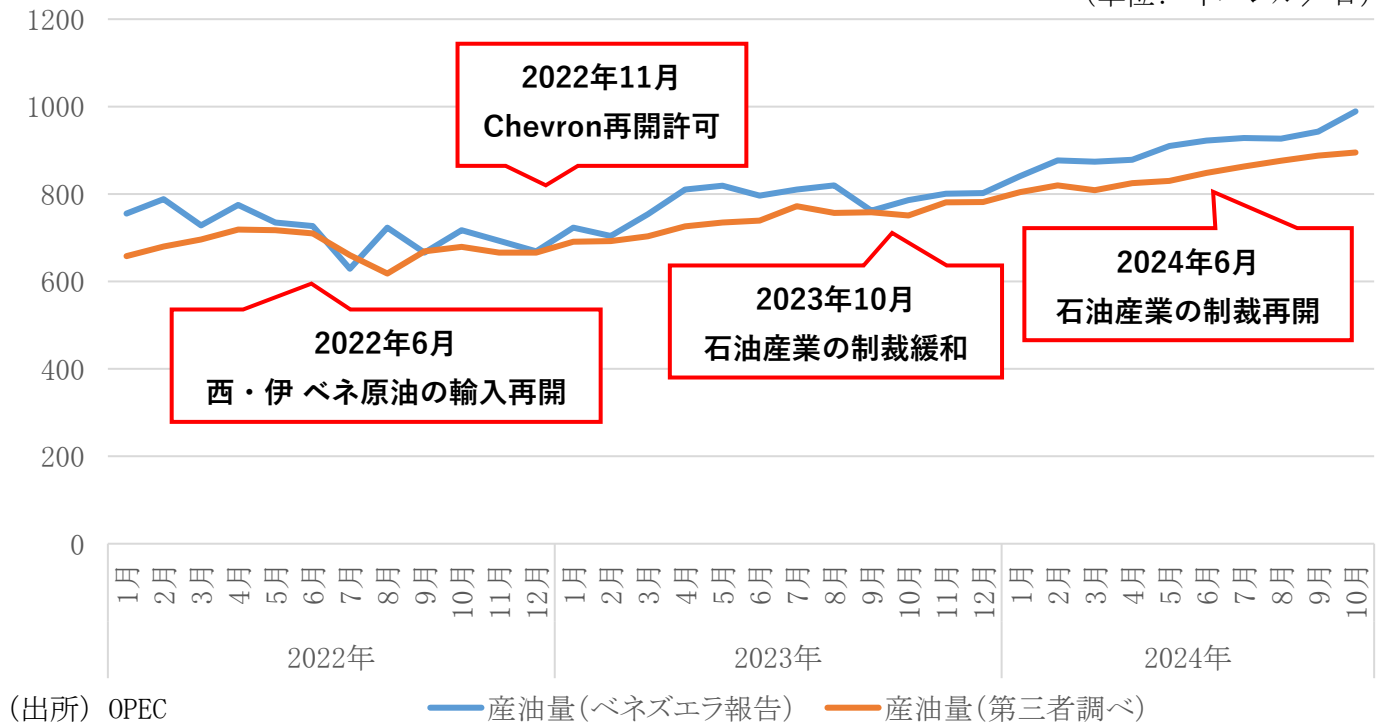
グラフ:ベネズエラの平均産油量(2019年1月～2021年12月)

(単位: 千バレル/日)



グラフ:ベネズエラの平均産油量(2022年1月～2024年10月)

(単位: 千バレル/日)



圧力強化で輸出量20万バレル/日以下も

参考までにトランプ政権の制裁が最も強烈だった2020年～21年当時、マドゥロ政権がどのように原油輸出先を確保したのかについて確認したい。

下表は「2020～21年のベネズエラの国別原油輸出先」(出所「Tanker Tracker」)である。

インド・スペインとの原油取引が停止した20年半ばの輸出量は日量20万バレル台とかなり少なかった。

しかし、ベネズエラは中国の独立系製油会社への輸出を増やすことで販売先を確保。これにより20年半ばを底に輸出量は徐々に回復し始めた。

なお、マレーシア向けの輸出は、マレーシアで他国の原油と混ぜられ、最終的に中国に輸出されていると考えられている。

このようにマドゥロ政権は、米国の制裁リスクを許容できる取引先へ原油を販売することで原油の輸出先を確保したと言えそうだ。

つまり、トランプ政権が2020年と同じレベルの制裁を科した場合、輸出量は再び日量20万バレル台まで減る可能性がある。

また、トランプ政権が中国の独立系製油会社に対しても直接的な圧力をかけて、取引を停止させたのであれば、2020年半ば当時よりも輸出量が減る可能性もあるのではないかと。

以上

表：ベネズエラの国別原油・石油製品輸出量(2020年～21年)

(単位：バレル/日)

	2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中国	326,127	469,444	130,162	226,503	0	21,882	40,981	29,120	77,804	166,451	311,536	345,344
キューバ	35,467	40,858	71,313	42,536	11,593	33,493	24,163	42,178	9,370	33,376	22,185	45,783
インド	419,756	224,089	217,840	61,575	0	0	123,246	91,760	359,634	0	0	0
マレーシア	0	53,710	191,800	349,580	50,172	0	0	21,438	33,625	20,266	60,387	0
シンガポール	29,178	0	0	0	179,636	0	19,983	0	64,671	0	0	0
イタリア	13,585	0	0	0	0	51,156	33,106	31,986	0	0	32,401	0
スペイン	0	46,070	0	50,317	15,984	67,405	49,272	30,809	32,565	0	0	0
仕向け地不明	21,399	30,654	0	22,667	88,333	59,693	0	0	20,039	0	61,378	0
合計	845,512	864,825	611,115	753,178	345,718	233,629	290,751	247,291	597,708	220,093	487,887	391,127

	2021年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中国	279,497	395,471	305,357	434,486	401,919	443,196	318,565	474,503	418,831	482,308	426,110	430,975
キューバ	26,277	12,213	32,698	38,012	44,941	25,759	56,546	10,173	24,922	22,350	45,959	37,020
インド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マレーシア	20,750	33,627	19,580	21,339	0	33,874	19,330	19,107	0	0	0	0
シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イタリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スペイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	34,495	59,175	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仕向け地不明	31,394	22,835	55,921	32,440	0	90,193	76,813	0	0	0	0	0
合計	357,918	498,641	472,731	526,277	446,860	593,022	471,254	503,783	443,753	504,658	472,069	467,995